

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○					○		○

企業の概要

社名	株式会社カンマン	都道府県	徳島県
業種	情報通信業	従業員数	10人
事業概要	ウェブサイト制作、ウェブシステム受託開発等		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	リモートワーク規定による
テレワーク担当部署	管理部
テレワーク対象者	全従業員
実施者数	6人
実施日数	概ね週2~3日

テレワークの導入・拡大の経緯

そもそも子育て中の優秀な女性社員が、もっと効率的かつ継続的に勤務できるように考えた制度であるが、家族の介護による利用も視野に入れた制度でもある。さらには、弊社のような中小零細企業の求人募集におけるアドバンテージも期待してのものでもある。

テレワークの概要・特徴

希望する従業員（正社員、パート、アルバイト）は誰でもリモートワークを行うことができる。出退勤のチェックはタイムカードアプリを使って管理し、コミュニケーションはメール、電話、ビデオチャット、各種グループウェア（ChatWork、Slack、Googleスプレッドシート等）を駆使することで解決している。

テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

子育て中の女性社員には直截的なメリットがあるのは予測できたが、それ以外にも遠隔地に住む従業員（1名）や男性社員（1名）もリモートワークを利用して移動時間という無駄を省くことができ生産性向上に繋がった。さらに、求人募集においても「在宅勤務可」という文言に対する反応が予想以上に多くて驚いた（Indeedを利用した募集で1ヶ月以内に応募があった3名全てが在宅勤務希望者であった）とともに、在宅勤務であれば中小零細企業であっても良い人材を確保できる可能性があると感じた。またそのような人材を掘り起こすことができる制度にもなると思う。